

令和2年度

Kakomon-Shōkai 2020

全国通訳案内士試験

二次口述過去問详解

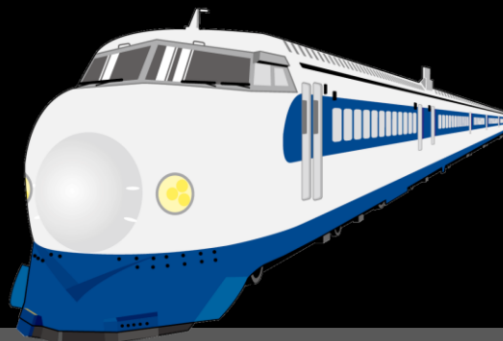
(上)

英語

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



「実務質疑」を含む全出題再現と、解答・解説、傾向対策はもとより、会場の運営状況まで、貴重な最新情報を満載！

過去問研究なくして合格なし 全受験者必携！

「楽しい学習による自己実現」を応援する

PEP 英語学校

We are full of PEP!

令和2年度
全国通訳案内士試験二次口述
試験会場の様子

2020/12/13 (日)

撮影者：杉森 元



東京会場

成蹊大学 9号館 (写真は受付の8号館)

東京都武蔵野市吉祥寺北町3丁目3-1

最寄駅：JR線「吉祥寺」



東京会場

日本大学 三軒茶屋キャンパス

東京都世田谷区下馬3-34-1

最寄駅：東急田園都市線「三軒茶屋」



成蹊大学正門

関西会場：海外産業人材育成協会 関西研修センター

九州会場：西南学院大学 1号館



各会場の面接室内の様子については

こちらの **YouTube** 動画で！

PLEASE

Like

Share

Subscribe!



PEPの
YouTubeへ
Go!



YouTube



教育系
YouTuber

PEP English School

令和2年度

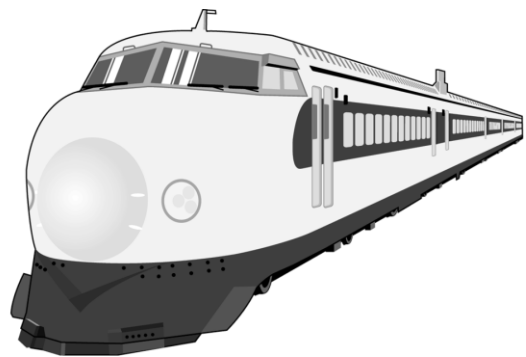
Kakomon-Shōkai 2020

全
国
通
訳
案
内
士
試
験
二
次
口
述
過
去
問
詳
解
(上) **英語**

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



まえがき

すでにご承知の通り、全国通訳案内士試験（平成 29 年度までは「通訳案内士試験」、正式名称の変遷に拘わらず通称「通訳ガイド試験」）の二次口述は、平成 25 年度に大きな形式上の変更があった。具体的には、従前の「ランダムな質疑応答」から「通訳とプレゼンテーション」という定型の課題が設定されたものになった。当該試験が、国家資格を付与する試験として、客観性をより担保しやすい形式に改良されたことは、積極的に評価できる。

そしてさらに平成 30 年度には、通訳案内士法の改正に伴う新ガイドラインに基づき、二次口述の形式にもマイナーチェンジが施された。その内容の詳細については本文に譲るが、大まかにいうと、従前の「逐次通訳とプレゼンテーション」という平成 25 年度に定められた 2 つの課題は維持しつつ、これに「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」（略称「実務質疑」）という新課題が追加された。これは、当該改正によって一次筆記試験に「通訳案内の実務」という新科目が加わったことと平行に考えることができる。つまり、筆記と口述の両試験において「実務能力」が問われるようになったのである。

さて、では平成 30 年度より実務能力の判定を追加して合格の要件を重くしたのは、どのような趣旨によるものであろうか。この答を得るためには、まず先の通訳案内士法改正の内容を把握することが必要である。ここでは、従前認められてきた当該資格保持者による業務独占の廃止等の規制緩和により、ガイド業務へ新規参入するための法的要件のハードルを下げ（無資格でも就業できるようにして）いる。その一方で、有資格を志向する者（新規受験者及び過去の合格者）については、当該資格試験の科目・課題の追加に加え、実務研修受講を義務付ける等、逆にハードルを上げ、その実質的能力の担保を強く求めている。

これは、東京五輪等を控えての訪日外国人観光客急増に対応すべく、法的要件を撤廃してガイドの基礎数を容易に確保できるようにする一方で、「全国通訳案内士」という名称を独占できる資格保持者については、非資

格保持者よりも明らかに質の高いサービスを提供できる能力を求めることにより、資格保持者の差別化を図っていく、という趣旨であろう。

そして、全国通訳案内士としての能力を測るための第一関門である当該試験において、従前の「通訳とプレゼンテーション」は、その基本的能力を試す課題として適切であると判断して維持を決め、さらにこれに加えて「実務能力」を問うことにした。こうすることにより、いっそう質が高く、かつ即戦力たりうる人材を選別し資格を付与する。これが平成 30 年度の試験形式変更の理由であると考えられる。そしてこの新形式とその趣旨は、翌 2019 年度以降そのまま継承されている。

つまり、全国通訳案内士への期待は高く、その資格付与のための新試験の難易度は上昇傾向にある、といえる。特に二次口述は難易度が高く、近年の合格率は下降している。そうだとすれば、全国通訳案内士試験の突破を目指される方々にとって、過去問研究の重要性はますます高い。受験準備は過去問から—これが普遍のセオリーであることは多言を要しない。

しかし、受験者にとって過去問入手の必要性が高いにもかかわらず、二次口述は密室の中で行われ、その出題内容は非公開である。本書は実際に口述試験を受けられた方々からの聞き取りをもとに出題を再現し、これに解答例及び解説を加えたものである。また、試験会場での実際の運営の状況に関するレポートや、試験実施団体が発表している関連資料等も掲載しており、本書を読めば二次口述の全体像が完全に把握できるように構成されている。ぜひ、読者諸兄におかれては本書を十分に活用され、見事合格の栄冠を得られることを希望する。

最後になったが、情報提供に協力してくださった受験者の皆さん、英文ネイティブ校正者の N.M さん、そして「面接再現動画」に出演いただいた顧問弁護士の芝田麻里先生、その他、本書の上梓のためにご尽力くださった全ての方々に、著者として心より感謝申し上げます。

PEP 英語学校 校長 杉森 元

本シリーズの構成について

平成 25 年度より実施された新形式の二次口述試験では、逐次通訳課題とプレゼンテーション課題がセットになった問題組が、試験時間帯ごとに準備されてきた。平成 25 年度と 26 年度は、合計 6 つの時間帯それぞれに 1 組、計 6 種類の問題セットが準備された。しかし、平成 27 年度には、各時間帯に 4 ないし 6 種類の問題セットが準備され、大幅な問題増となった。そして、その翌年度以降、直近の 2020 年度（2018 年度より各問題組には新課題「実務質疑」が追加された）までは、各時間帯に 2 種類の問題セットが用意されるにとどまった。この問題数変遷の理由は発表されていないが、おそらく問題漏洩防止の観点から、試験実施団体は平成 27 年度より、各時間帯につき複数の問題セットを準備することにしたが、漏洩対策が目的なのであれば、各時間帯に 2 つで十分であり、4 ないし 6 までも増加させる必要はないと考え直したため、翌年以降は各時間帯に 2 種類の問題を準備するにとどめたものと思われる。

当書『過去問詳解』シリーズは、新形式初年度の平成 25 年度より毎年、その年の過去問とその解答・解説を収録している。出題問題セット数の変遷に伴って、平成 25、26 年度分はそれぞれ単巻、平成 27 年度分は上・中・下の三分冊、平成 28、29、30 年度、2019 年度分は、上・下の二分冊で発刊された。今回、2020 年度の方は前年度と同じ上・下の二分冊で発刊する。

ここにおいては、全出題の再現及び出題傾向の分析を上巻の「第 1 章 出題概観」に、そして時間帯 1～3 における出題分の解答・解説を同巻の「第 2 章 解答・解説」に、その他の情報を第 3 章以降に掲載する。そして下巻では、全出題の再現を「第 1 章 出題」に、そして時間帯 4～6 における出題分の解答・解説を「第 2 章 解答・解説」に掲載する、という編纂方針を採った。

新形式も 8 年目になり、すでにかかなりの量の過去問が蓄積されている（平成 30 年度のマイナーチェンジ以後も、それまでの逐次通訳とプレゼンテーション課題は維持されており、その内容も、平成 25～29 年度に出題さ

れた問題が再び出されている。よって、平成 25～29 年度の過去問の有用性は、平成 30 年度以降も不変である)。過去問は受験準備のための最良の素材であり、通訳案内士の業務におけるニーズを反映した、合格後も役立つ情報の宝庫である。

学習者諸兄におかれては、以上をご理解の上、受験準備にあたり、必ず平成 25 年度から直近年度までの全過去問を検討されることをお勧めする。

以上

第1章 出題概観	1
面接における出題手順	3
出題の流れ.....	4
各課題の条件.....	5
全出題の再現（時間帯1～6）	6
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）.....	8
問題セット1（1-1 外国語訳が「掃除」の組）.....	8
問題セット2（1-2 外国語訳が「和食」の組）.....	10
時間帯2（面接時間 11:00-12:00）.....	12
問題セット1（2-1 外国語訳が「印鑑」の組）.....	12
問題セット2（2-2 外国語訳が「新幹線」の組）.....	14
時間帯3（面接時間 13:00-14:00）.....	16
問題セット1（3-1 外国語訳が「手洗い」の組）.....	16
問題セット2（3-2 外国語訳が「キャッシュレス」の組）.....	18
時間帯4（面接時間 14:00-15:00）.....	20
問題セット1（4-1 外国語訳が「京都」の組）.....	20
問題セット2（4-2 外国語訳が「日本酒」の組）.....	22
時間帯5（面接時間 15:30-16:30）.....	24
問題セット1（5-1 外国語訳が「日本刀」の組）.....	24
問題セット2（5-2 外国語訳が「旅館」の組）.....	26
時間帯6（面接時間 16:30-17:30）.....	28
問題セット1（6-1 外国語訳が「皇居外苑」の組）.....	28
問題セット2（6-2 外国語訳が「相撲」の組）.....	30
出題傾向の分析	32
全体.....	32
試験形式について.....	32
出題分野について.....	32
プレゼンテーション問題.....	33
総論.....	33
各論.....	33
コロナ関連出題.....	33

プレゼンテーション例の和訳	58
質疑応答で出された質問	59
③ 一汁三菜	60
解答の指針	60
プレゼンテーション例	60
英語表現	61
プレゼンテーション例の和訳	62
質疑応答で出された質問	63
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	64
問題「掃除」	64
解答例	64
英語表現	64
関連知識と通訳のコツ	65
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	66
問題「日本の小学校を見学したい」	66
解答の指針	66
解答例	67
英語表現	67
解答例の和訳	68
問題セット2（1-2 外国語訳が「和食」の組）	69
プレゼンテーション問題	69
テーマ	69
解答・解説	69
① 春一番	69
解答の指針	69
プレゼンテーション例	69
英語表現	70
プレゼンテーション例の和訳	71
質疑応答で出された質問	71
② ワークーション	72
解答の指針	72
プレゼンテーション例	74

英語表現	75
プレゼンテーション例の和訳	76
質疑応答で出された質問	76
③ おくのほそ道.....	78
解答の指針.....	78
プレゼンテーション例	79
英語表現	79
プレゼンテーション例の和訳	80
質疑応答で出された質問	81
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	82
問題「和食」	82
解答例	82
英語表現.....	82
関連知識と通訳のコツ	83
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	84
問題「日本の一般家庭で一汁三菜」	84
解答の指針	84
解答例	85
英語表現.....	85
解答例の和訳.....	86
時間帯 2（面接時間 11:00-12:00）	87
問題セット 1（2-1 外国語訳が「印鑑」の組）	87
プレゼンテーション問題.....	87
テーマ	87
解答・解説	87
① サブスクリプション	87
解答の指針.....	87
プレゼンテーション例	88
英語表現	88
プレゼンテーション例の和訳	89
② 鎖国.....	91
解答の指針.....	91

プレゼンテーション例	91
英語表現	92
プレゼンテーション例の和訳	93
質疑応答で出された質問	94
③ お食い初め	95
解答の指針	95
プレゼンテーション例	95
英語表現	96
プレゼンテーション例の和訳	97
質疑応答で出された質問	97
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	98
問題「印鑑」	98
解答例	98
英語表現	99
関連知識と通訳のコツ	99
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .	100
問題「お土産に自分の印鑑」	100
解答の指針	100
解答例	100
英語表現	101
解答例の和訳	101
問題セット2（2-2 外国語訳が「新幹線」の組）	103
プレゼンテーション問題	103
テーマ	103
解答・解説	103
① 手締め	103
解答の指針	103
プレゼンテーション例	104
英語表現	104
プレゼンテーション例の和訳	105
② レジ袋有料化	106
解答の指針	106

プレゼンテーション例	106
英語表現	107
プレゼンテーション例の和訳	108
質疑応答で出された質問	108
③ 駅伝	109
解答の指針	109
プレゼンテーション例	110
英語表現	111
プレゼンテーション例の和訳	112
質疑応答で出された質問	112
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	113
問題「新幹線」	113
解答例	113
英語表現	114
関連知識と通訳のコツ	114
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	115
問題「台風で新幹線が運休」	115
解答の指針	115
解答例	116
英語表現	116
解答例の和訳	116
時間帯 3（面接時間 13:00-14:00）	118
問題セット 1（3-1 外国語訳が「手洗い」の組）	118
プレゼンテーション問題	118
テーマ	118
解答・解説	118
① 一期一会	118
解答の指針	118
プレゼンテーション例	119
英語表現	119
プレゼンテーション例の和訳	120
質疑応答で出された質問	121

② 熊野古道.....	122
解答の指針.....	122
プレゼンテーション例.....	122
英語表現.....	123
プレゼンテーション例の和訳.....	123
質疑応答で出された質問.....	124
③ ラーメン.....	126
解答の指針.....	126
プレゼンテーション例.....	126
英語表現.....	127
プレゼンテーション例の和訳.....	128
質疑応答で出された質問.....	129
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）.....	130
問題「手洗い」.....	130
解答例.....	130
英語表現.....	130
関連知識と通訳のコツ.....	131
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）.....	132
問題「手洗い後に手が拭けない」.....	132
解答の指針.....	132
解答例.....	133
英語表現.....	134
解答例の和訳.....	134
問題セット2（3-2 外国語訳が「キャッシュレス」の組）.....	135
プレゼンテーション問題.....	135
テーマ.....	135
解答・解説.....	135
① 小倉百人一首.....	135
解答の指針.....	135
プレゼンテーション例.....	135
英語表現.....	136
プレゼンテーション例の和訳.....	136

質疑応答で出された質問	137
② 梅雨	138
解答の指針	138
プレゼンテーション例	138
英語表現	139
プレゼンテーション例の和訳	140
質疑応答で出された質問	141
③ みんなのトイレ（多目的トイレ）	142
解答の指針	142
プレゼンテーション例	144
英語表現	144
プレゼンテーション例の和訳	145
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	147
問題「キャッシュレス」	147
解答例	147
英語表現	147
関連知識と通訳のコツ	147
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	148
問題「現金の持ち合わせがない」	148
解答の指針	148
解答例	148
英語表現	149
解答例の和訳	149
第3章 「予定内容について」掲載のサンプル問題	151
文書「予定内容について」の全文面	153
問題と解答例	154
第4章 各課題内の時間管理	157
①プレゼンテーションの準備時間（30秒）	159
②プレゼンテーションの時間（2分）	159
③外国語訳解答時間（1分）	161

④実務質疑の準備時間 (30 秒)	161
第5章 試験会場関連情報.....	163
本試験の運営状況.....	165
建物内での移動について	165
試験運営受託者の交代について.....	165
本試験当日のタイムテーブル	166
新型コロナウイルス感染症拡大防止策について.....	169
問題漏洩防止のための行動制限・他について	172
受付.....	172
大控室	172
小控室	173
面接室前.....	173
面接室	174
挨拶・本人確認	174
課題	174
試験終了.....	175
一時待機場所	175
試験終了者待機室	175
会場の雰囲気・付近の様子	176
会場到着まで	176
受付.....	176
大控室.....	177
受験するにあたっての注意	177
持ち物.....	177
受付チェックインをするタイミング等.....	178
待機時間の過ごし方等	178
面接室内	179
第6章 試験対策.....	181
お勧めの勉強法と教材	183
総論.....	183

インプット	183
①過去問の把握	183
②単語や日本事象に関する知識など	184
③各課題の理論（全体）	184
アウトプット	185
各課題の理論（個別）	186
プレゼンテーション	186
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	190
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	190
各課題の演習	192
プレゼンテーション	192
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	199
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	202
過去問出題一覧表	203
教材の入手先	210
第7章 試験改正の経緯	213
平成 25（2013）年度ガイドライン改正	215
「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知	216
平成 30（2018）年度ガイドライン改正	216
平成 30 年度「口述試験の予定内容について」による告知	218
平成 31（2019）年度ガイドライン改正	218
2019 年度「口述試験の予定内容について」による告知	219
令和 2（2020）年度ガイドライン改正	219
2020 年度「口述試験の予定内容について」による告知	219
令和 3（2021）年度ガイドライン改正	219

第1章

出題概観

- ・ 面接における出題手順
- ・ 全出題の再現（時間帯1～6）
 - ・ 出題傾向の分析



本章の内容

本章においては、本年度の二次口述における全出題を概観する。各課題の解答例及び解説については、第2章「解答・解説」をご覧ください。

面接における出題手順

問われる課題は、①プレゼンテーション問題（即興プレゼン&質疑）、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（便宜的に「外国語訳」または「逐次通訳」「通訳」）、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（便宜的に「実務質疑」「実務トラブル質疑」「実務トラブル」「シチュエーション問題」等）、の3つであり、この順番で出題された。各課題の冒頭、試験方法に関する簡単なインストラクションが日本語で行われる。

なお、入室し挨拶を交わした後、最初に問われるのが、名前、誕生日、現住所の3つである。このやりとりは、英語で行われることと日本語で行われることがあり、採点対象外であると考えられる。面接時間は、1人につき合計で約11分と設定されている。

次頁の「出題の流れ」を一読された後、以下のYouTube動画を視聴いただければ、試験の流れの把握は完璧となる。この動画は、平成30年度の改正で加わった新課題「実務質疑」までを含んだ、新試験の様子を動画により完全に再現したものである。一目で試験の流れが把握でき、受験者のイメージづくりに最適といえる。



視聴方法

YouTubeのページより、アカウント名「PEPEnglishSchool」または「通訳ガイド」等のワードで検索し、上のサムネイルを選択する。

出題の流れ

課題	順	行為	内容・趣旨	言語	所要時間
	①	入室、挨拶	リラックスと本人確認 J試験官が日本語または英語で、受験者の名前・誕生日・住所を訊く	日本語 英語	30秒
プレゼンテーション&質疑	②	プレゼン 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	③	プレゼン準備	受験者が3択のお題から1つを選び、プレゼンを準備	無言	30秒
	④	プレゼン	受験者がプレゼン	英語	2分
	⑤	プレゼン質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
外国語訳	⑥	外国語訳 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑦	外国語訳問題文 読み上げ	J試験官が問題文を読み上げる	日本語	30秒
	⑧	外国語訳解答	受験者が問題文の英訳を口頭で解答	英語	1分
実務質疑	⑨	実務質疑 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑩	実務質疑準備	受験者が問題用紙を黙読して質疑の準備	無言	30秒
	⑪	実務質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
	⑫	終了宣言、挨拶、退室	J試験官は試験終了を告げ、問題漏洩を防ぐため、問題用紙等を回収して受験者を退出させる	日本語	30秒
計					11分

※J試験官＝日本語母語話者試験委員、E試験官＝英語母語話者試験委員

各課題の条件

◆プレゼンテーション&質疑

- ① 受験者は、30秒で三択のお題から1つを選び、かつプレゼンテーションの準備をする
- ② 準備中に、メモを取ることもできる（この旨の明文はガイドラインにないが、実際の現場では認められていた）
- ③ 受験者は、プレゼンテーションの冒頭で、選択したお題がどれであるかを英語で宣言した上で、プレゼンテーションに入る
- ④ プレゼンテーションは、2分程度でまとめる
- ⑤ プレゼンテーション終了後、英語母語話者試験委員と英語による質疑応答を行う

◆外国語訳

- ① 問題文の読み上げは1度のみ
- ② 受験者は、メモを取ることができる
- ③ 訳出は、問題文読み上げ終了後、直ちに開始し、1分以内に終了する

◆実務質疑

- ① 受験者は、30秒で問題文を黙読し、質疑応答の準備をする
- ② 準備時間中、受験者はメモを取ることができる
- ③ 質疑は、英語母語話者試験委員を観光客と見立てての英語によるロールプレー形式により行う

全出題の再現（時間帯 1～6）

受験者を合計 6 つの時間帯のグループに分け、時間帯 1～6 まで、それぞれ 2 組の「三択プレゼンテーション＋外国語訳＋実務質疑」セットが割り当てられた（計 12 セット）。各課題の数は、外国語訳が $2 \times 6 = 12$ 個、プレゼンテーションのトピックは $3 \times 2 \times 6 = 36$ 個あった。実務質疑は、外国語訳の問題数と同一であり、全部で 12 個である。

令和2年度 出題一覧表 2020年12月13日(日)実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
1 10:00-11:00	1	①大政奉還 ②免許返納 ③一汁三菜	掃除	日本の小学校を見学したい
	2	①春一番 ②ワーケーション ③おくのほそ道	和食	日本の一般家庭で一汁三菜
2 11:00-12:00	1	①サブスクリプション ②鎖国 ③お食い初め	印鑑	お土産に自分の印鑑
	2	①手締め ②レジ袋有料化 ③駅伝	新幹線	台風で新幹線が運休
3 13:00-14:00	1	①一期一会 ②熊野古道 ③ラーメン	手洗い	手洗い後に手が拭けない
	2	①小倉百人一首 ②梅雨 ③みんなのトイレ(多目的トイレ)	キャッシュレス	現金の持ち合わせがない
4 14:00-15:00	1	①熊手 ②黒部ダム ③アマビエ	京都	京都で神社仏閣に飽きた
	2	①新しい生活様式 ②高野山 ③入湯税	日本酒	買った酒の銘柄違い
5 15:30-16:30	1	①敷金礼金 ②リモート 飲み会 ③刺身のつま	日本刀	日本刀を土産に持ち帰りたい
	2	①日本の感染症対策 ②飴細工 ③姫路城	旅館	朝食を早く食べて出立したい
6 16:30-17:30	1	①風致地区 ②神輿 ③除夜の鐘	皇居外苑	皇居外苑での熱中症予防策
	2	①講談 ②マイナンバー カード ③ゆず湯	相撲	相撲の全取り組みを見るのはきつい

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。
 ※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

時間帯 1 (面接時間 10:00-11:00)

問題セット 1 (1-1 外国語訳が「掃除」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明 (プレゼンテーション) を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

大政奉還
免許返納
一汁三菜

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

日本の小学校では、児童が教室の掃除を行います。これは仏教の教えに基づくといわれています。柔道や剣道などの武道の練習の前後にも、生徒が道場の掃除をします。近年、教育的観点から、この習慣には、児童の協調性、自主性、責任感を育むという意義がある点が注目され、海外でも取り入れられ始めています。(144 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑 (実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

友人同士二人連れのお客様が、日本の小学校で児童が清掃を行うところをぜひ見学したい、と希望されています。二人のうち、一人はアメリカの小学校で正規の教員をされています。通訳案内士として、あなたはどうか対応しますか。

【条件】

今回のお客様は、あと1週間この地に滞在する予定で、日程は自由がききます。

問題セット2 (1-2 外国語訳が「和食」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

春一番
ワーケーション
おくのほそ道

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本語の内容—

和食は、「日本人の伝統的な食文化」として、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは、理想的な栄養バランスといわれています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿や肥満防止に役立っています。(142字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

お客様が、有料でもいいので、滞在中に日本の一般家庭で一汁三菜の料理を食べてみたい、と希望されています。通訳案内士として、あなたはどうか対応しますか。

【条件】

お客様は、定年退職後の夫婦で個人旅行です。あなたが担当の現地に2泊した後、移動予定で、合計10日間滞在の予定です。それ以外、特に制約はありません。

時間帯 2（面接時間 11:00-12:00）

問題セット 1（2-1 外国語訳が「印鑑」の組）

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明（プレゼンテーション）を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

サブスクリプション

鎖国

お食い初め

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

印鑑の歴史は長く、約 1,200 年前から使われています。印鑑は個人でも会社でも使われていて、必要不可欠なものです。昨今、コロナ禍でテレワークが増えたため、印鑑の使用を見直すべき、という意見があります。古い日本の文化である印鑑をやめるべきか、熱い議論がなされています。(128 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

【シチュエーション】

お客様が、商店街の小さなハンコ屋さんで印鑑に興味を持ち、このお店で自分の名前の印鑑を作りたい、と希望されています。しかし、作成には4、5日を要するところ、お客様は明日のフライトで帰国しなければなりません。通訳案内士として、あなたはどうか対応しますか。

【条件】

このハンコ屋さんは小さな店なので、海外発送の対応はありません。お客様は個人旅行です。

問題セット2 (2-2 外国語訳が「新幹線」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

手締め
レジ袋有料化
駅伝

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本語の内容—

新幹線は、その速さから「弾丸列車」と呼ばれている日本の超特急列車です。1964年、東京オリンピックのあった年に開業し、現在では、東京から、北は北海道の新函館北斗駅、南は九州の鹿児島中央駅まで伸びています。新幹線は、その出発時刻と到着時刻の正確さが、世界中で高く評価されています。(139字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行者と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

お客様は、これから新幹線で午前中に大阪から姫路へ移動し、姫路城を観光した後、翌日、広島を訪れる予定になっています。しかし台風の影響で、午前中の新幹線が運休になってしまいました。お客様は、姫路城の観光を楽しみにされています。通訳案内士として、あなたはどのように対応しますか。

【条件】

お客様は、子供がいる4人家族で、個人旅行です。

ページ中略

問題セット2 (5-2 外国語訳が「旅館」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

日本の感染症対策
飴細工
姫路城

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本語の内容—

日本の宿泊施設の中で、和風様式の施設において主として和食を提供するものを「旅館」と呼びます。旅館には「中居」と呼ばれる着物を着た女性がおり、接客をします。日本には温泉がたくさんあり、温泉地には、温泉を売りにしている旅館もたくさんあります。旅館の宿泊料金には、通常、一泊二食が含まれています。(145字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

【シチュエーション】

お客様は旅館に滞在中です。旅館の朝食は朝8時と決まっていますが、お客様は明日、たくさんの観光地を訪れる予定なので、朝食を早く済ませて出発したい、と希望しています。通訳案内士として、あなたはどのように対応しますか。

【条件】

お客様は、若いカップルで、個人旅行者です。

時間帯 6 (面接時間 16:30-17:30)

問題セット 1 (6-1 外国語訳が「皇居外苑」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明 (プレゼンテーション) を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

風致地区
神輿
除夜の鐘

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

皇居外苑は、東京の中心に位置する広大な公園で、国内外から多くの観光客が訪れます。ここでは、素晴らしい景観と美しい樹木を、散策しながら楽しむことができます。また、天皇家についてもできます。(97 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑 (実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行者と見立てて、ガイドとして応対してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

お客様は、本日、皇居外苑を見学する予定ですが、今は7月下旬で朝から晴天となって気温が高く、参加者の熱中症が心配されます。通訳案内士として、あなたはどのように対応しますか。

【条件】

お客様は、年配者7～8人のグループです。

問題セット2 (6-2 外国語訳が「相撲」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

講談
マイナンバーカード
ゆず湯

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

相撲は、二人の力士が土俵で闘う競技で、日本の国技です。一方の力士が、相手を土俵から出すか、相手の体の一部を土俵につけたら勝ちです。力士の最高ランクは横綱、次のランクは大関と呼ばれます。相撲観戦は非常に人気があり、大相撲は年に6回、日本の各都市で開催されます。(129字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

【シチュエーション】

お客様は、楽しみにしていた相撲観戦にみえ、既にチケットも入手しています。しかし、取り組みを最後まで見ると3時間かかると聞き、とても最後まで観る自信がない、と心配されています。通訳案内士として、あなたはどのように対応しますか。

【条件】

お客様は、年配のご夫婦です。スケジュールの制約は特にありません。

出題傾向の分析

全体

試験形式について

平成 30 (2018) 年度のリニューアル (新課題「実務質疑」の追加等) を受け、前年度に続き、本年度も原則として同一の形式がそのまま継承された。

出題分野について

後述の課題別分析にて詳述するが、コロナ関係の出題が多かったこと、が最大の特徴として挙げられよう。コロナは当該年度最大の時事トピックであるが、全国通訳案内士試験のメインテーマたる「観光」の存在自体を否定しかねないネガティブトピックでもある。このため、当該試験の出題対象としてどのように取り扱われるかが注目されていたが、結局、時事問題として解説 (この試験が行われている時点では、コロナの影響により新規の外国人観光客はほぼゼロなので、観光客の不存在を前提としている「非観光アトラクション」課題と考えられる) することが求められた。このように、コロナ関係の出題を「非観光アトラクション・解説型」に含めると、昨年度減少した「非観光アトラクション・解説型」の出題の総数は、再増加したことになる。

また、コロナの影響で、本来出題の主体たるべき「観光アトラクション」、特に「密」になる祭り等の体験型アトラクションが出題し難くなった分、それ以外の分野の出題が増加した。すなわち、「概念の説明」とでもいうべき出題 (「一汁三菜」「一期一会」等) がなされた。

例年通り過去問の再出も見られた (プレゼンテーションで過去と同一の問題が出され、通訳も過去問とよく似た問題が出された。また以前、プレゼンテーションで出題された分野が通訳で出題され、その逆の例もあった)。

ガイド試験の伝統的出題分野「明治維新」については、昨年度、数年ぶりに復活したのを受け、本年度も「大政奉還」と「鎖国」の 2 問が出題された。このうち「鎖国」は、平成 25 年度にも出題されているので、過去問の再出でもある。

プレゼンテーション問題

総論

出題形式や問題数については、平成 28 年度以来の「6つの時間帯に問題セットが2つずつ」が維持された。プレゼンテーションのトピックは、1セットに3つずつなので、今年度のお題の数は全部で $6 \times 2 \times 3 = 36$ 個である。出題の内容的特徴につき、以下、各論において詳述する。

各論

コロナ関連出題

前述のように、本年度の出題の最大の特徴は、コロナ関連の出題である。プレゼンテーションでの出題は、「ワーケーション」、「サブスクリプション」、「レジ袋有料化」、「アマビエ」、「新しい生活様式」、「リモート飲み会」、「日本の感染症予防対策」、の7問であった。このうち、「アマビエ」と「リモート飲み会」「サブスクリプション」は、「流行語ジャンル」にも該当する（「アマビエ」は、2020 ユーキャン新語・流行語大賞のトップ10にズバリ、「リモート飲み会」も、「オンライン〇〇」が同じくトップ10に入っていることから該当、と考えられる）。

こうしたお題への解答方針であるが、結論的には「非観光アトラクション型」のお題として取り扱うべきであると考えられる。前述の通り、コロナは観光業の存在自体を否定しかねないネガティブトピックであり、出題時には、コロナの影響で新規の訪日観光客の数はほぼいなかったことも考え合わせると、これをポジティブに観光アトラクションと結び付けることは極めて難しいからである。試験戦略的には、これらのトピックは、難問としてできるだけ選択しないこと（他の観光アトラクション系トピックを選ぶ）にし、選ぶのであれば、純粋な時事問題の解説として中立的に語るようにすべきであると考えられる。

過去問の再出題

今年度に出題されたプレゼンテーションのトピック中、過去問の再出題は次の通り、合計3題である。

No.	2020 年度出題	過去問
1	鎖国	H25 「鎖国」
2	高野山	H26、H28 「高野山」
3	除夜の鐘	H30 「除夜の鐘」

※なお、「高野山」の出題は、2018 年度以降、毎年 JNTO が二次試験前に発表する文書「口述試験の予定内容について」に掲載されているサンプル問題にも含まれている。

昨年度が 11 題、一昨年度が 4 題であったので、やはり再出は昨年度が異常に多く、今年度は平年並みに戻った、という評価が妥当かと思われる。

なお、分野的に関連があるものとしては、平成 30 年度に「無礼講」「割り勘」が出題されたところ、「日本の宴会」つながりで、本年度は「手締め」が出題された。また、「買い物」つながりで、平成 28 年度の「日本の免税制度」、平成 30 年度の「リボ払い」、2019 年度の「消費増税」「宅配ボックス」に次いで、本年度は「レジ袋有料化」が出題された。

いずれにせよ、過去問研究の重要性は、受験における普遍の原則である点に変わりはない。

超定番「明治維新」

先述の通り、通訳ガイド試験の伝統ともいえる「明治維新」関連の出題は、数年鳴りを潜めた後、前年（2019）度に復活した。本年度はこれを引き継ぎ、「大政奉還」と「鎖国」が出題された。

二次口述が現在の形式となった平成 25（2013）年度以降におけるプレゼンテーションの出題中、明治維新関連のものを年度ごとに追うと、次のようになる。

年度	出題
2013	「19世紀の日本で起きた歴史的出来事」(明らかに明治維新のこと) 「江戸」
2014	「明治維新」「鎖国」「黒船」
2015	「一万円札に描かれている人物」(∵福沢諭吉) 「坂本龍馬」「新選組」
2016	なし
2017	なし
2018	なし
2019	「明治維新」
2020	「大政奉還」「鎖国」

明治維新関連の直接出題は、2016～2018年度の間はなかったが、この間も間接的に明治維新の知識は常に必要とされており、話の流れによっては明治維新の知識が必要となるような出題は存在していた。たとえば、2016年度の「江戸城」「天皇制」などは、明治維新に話が及ぶ可能性が非常に高い。また、2017年度に出題された「交番」については、近代警察制度の開始は明治維新に遡るという歴史がある。同年度の「神道」も、明治維新の精神的支柱の1つであるという点で関連がある。

明治維新関連の出題は、一次二次を通じてガイド試験数十年来の伝統でもあり、今後ともこの分野からの出題は続くと考えられる。

純粋な「非観光アトラクション・解説型」出題数の増加

この「非観光アトラクション・解説型」というカテゴリーは、筆者が勝手に創設・命名したものであるが、要するに具体的な観光に関する事物に直結しておらず、「解説自体がアトラクション」(「理解」を目的とするトピック)という意味である。過去の出題を見ると、前年度の平成30年度には「集団登下校」「働き方改革」「無礼講」「根回し」「太陽光発電」等、たくさん出されたところ、次の2019年度は「テレワーク」のみが純粹の「非観光アトラクション・解説型」であった。

本年度は、前述の通りコロナ関連の出題がこの「非観光アトラクション・解説型」に該当すると考えられるので、当該カテゴリーの出題は、コ

ページ
中略

▶出題された問題文

和食は、「日本人の伝統的な食文化」として、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは、理想的な栄養バランスといわれています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿や肥満防止に役立っています。(142字)

※出典：農林水産省のホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/ich/>

▶以下引用

「和食」の4つの特徴

—中略—

(2) 健康的な食生活を支える栄養バランス

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスとされています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿や肥満防止に役立っています。

▶引用終わり

(2) 時間帯4問題セット1「京都」

▶出題された問題文

京都には、古都京都の文化財として世界遺産に登録されている寺院や神社、城郭が17カ所あります。その多くが京都市内に点在しており、国宝となっているものもあります。それらの建造物や素晴らしい庭園では、日本の伝統美が見られます。他にも、秋の紅葉など京都には見どころが多く、季節に応じた自然美を楽しむことができます。(153字)

※出典：本試験 2018年度時間地6問題セット2「京都の世界遺産」

▶以下引用

京都には、古都京都の文化財として世界遺産に登録されている寺院や神社、城郭が 17 カ所あります。その多くが京都市内に点在しており、国宝となっているものもあります。それらの建造物や素晴らしい庭園は、多くの訪日外国人観光客を魅了しています。(116 字)

▶引用終わり

注目すべきは、(2) の例で、これは近接した年度の過去問に極めて似た問題が出題されたものである。過去問を研究して試験に臨んだ受験者は有利であったろう。

問題文の長文化傾向について

平成 28 年度より、通訳問題の問題文が長くなるという傾向がある。これまでの出題文の文字数変遷をまとめると、次の表のようになる。

通訳（外国語訳）問題文の文字数変遷（太枠線内は長文化以降の出題）

	問題数	最長	最短	平均
H25 サンプル	1 題	79 字	79 字	79 字
H25 本試験	6 題	105 字	82 字	93.7 字
H26 本試験	6 題	109 字	73 字	87 字
H27 本試験	26 題	105 字	65 字	85.1 字
H28 本試験	12 題	159 字	110 字	134.4 字
H29 本試験	12 題	151 字	112 字	126.8 字
H30 予定内容サンプル	1 題	111 字	111 字	111 字
H30 本試験	12 題	138 字	87 字	120.5 字
2019 本試験	12 題	166 字	118 字	133.8 字
2020 本試験	12 題	153 字	97 字	133.8 字
平均		127 字	93.4 字	110.5 字

※2019 年度、2020 年度にも「予定内容サンプル」が出たが、H30 年度の「予定内容サンプル」と同一の問題であったので、ここでは省略した。

2020年度は、平均字数が133.8字と、前年度と全く同じであった。長文化が始まった平成28年度以降、問題文の文字数は120～130字程度で安定してきている、という評価が妥当であろう。一点だけ本年度の特徴を挙げるとすれば、最長の153字と最短の97字の差が56字もあり、この差の大きさは、これまでで最大である。受験者としては若干の不公平感(?)を感じるかもしれない。

なお、長文化初年度たる平成28年度以来、『過去問詳解』シリーズで繰り返し述べてきたように、たとえこのように長文化した問題文でも、本試験における「1分以内に通訳終了」という要件は、十分満たし得るものである(最も長い問題文を読み上げるのにかかる時間の1.5倍以上の時間が解答のために与えられている)ので、受験者は十分に通訳訓練を経た上で本番に臨むことが求められる。具体的には、リテンションとノートテーキングの技術の習得が必須である。その具体的学習法については、第6章「試験対策」の「お勧めの勉強法と教材」において述べる。

出題分野

問題内容及び形式につき、大きな変化はなかった。ただ、昨年度の時間帯6に出題された2問は、通訳ガイドの職務について述べた文章であり、内容的に目新しかったところ、今年度はこの分野からの出題はなかった。全体的にはスタンダードな観光アトラクション(観光地、飲食物、イベント、土産、宿泊、交通機関など)をテーマとするものが多かったが、時間帯1において「掃除」という日本の習慣や、「手洗い」「印鑑」などでコロナ対策に関する文章が出題されたことが特徴的であった。

平成27年度の「山なし県」のような「ダジャレ問題」、平成28年度の「大阪」にみられた「体言止め」といった、「日本語の使い方自体」で受験者を惑わすような出題もなかった。試験問題としては、素直で歓迎できるものと評価できる。

全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

総論

実務質疑は2018(H30)年度に新設された課題であり、その趣旨は、資格保持者に「実務能力」を問うことである点は、「まえがき」にて述べた

通りである。新課題導入3年目である本年度は、2018（H30）年度以来の本試験出題の形式・内容が原則的に踏襲された。

2018年度は、この新課題が導入された初年ということがあり、試験形式についての事前告知（試験実施団体 JNTO による新ガイドラインと文書「口述試験の予定内容について」に掲載された新課題のディスクリプション）が十分でなく、本試験において若干の混乱が生じていた。特に口述試験直前に発表された「口述試験の予定内容について」の内容は、現実の「実務質疑」について正確にその内容を伝えるものでなく、むしろ誤解を生じさせる原因になっていた（詳細については『H30 過去問詳解（上）』を参照）。

本年度も前年度に続き、同一内容の「口述試験の予定内容について」が発表されたが、前年度、前前年度の2年分の過去問情報があったため、これを事前に入手し準備していた意識の高い受験者は、同文書に惑わされることなく、試験に臨むことができた。このように「口述試験の予定内容について」は現実の出題を十分反映しておらず、むしろ混乱の原因になり得るので、試験実施団体において、2021年度は当該文書の内容を改訂されることが望ましい。

2018年度の実務質疑問題は、12セットのうち、2つずつ2セットが同一の問題（「和食料理店が近くにない」と「公衆浴場での刺青問題」が2つずつ）で、実際の問題は10種類であったが、2019年度、2020年度は12セット全てについて異なる問題が作成された。問題漏洩防止を徹底させるためと考えられ、これは好ましい動きであろう。

各論

出題内容

実務質疑は、先行する「外国語訳」の内容に関連付けて出題される（H30年度の出題において、外国語訳が「金閣」の説明であれば、実務質疑の問題内容が「金閣が工事中で見られないが、どうするか」であったごとし）。よって、出題分野については、外国語訳と同一で、日本観光に関する典型的なものが多かった。


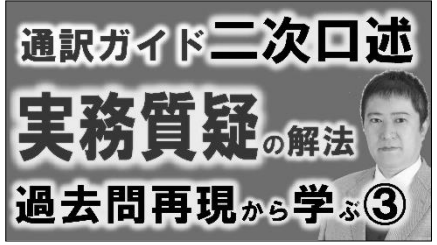
初年（2018年）度は、受験者に与えるケースが、「困った状況の手当て」という消極的なものだけであった。たとえば、「金閣寺を見るのを楽しみ

にしてきたお客さんがいるが、金閣寺は現在工事中で見学不可」といったケースであり、100%の満足を与えることがそもそも不可能であることが前提とされている問題である（提出できるのは、あくまでも「代替案」に過ぎない）。これに対し、次年（2019年）度は若干毛色の異なる問題が出現している。すなわち、「お客さんは寿司作り体験をしたいと希望している」（時間帯2）といったごとく、100%の満足を与える提案が可能なケースの問題である。この新傾向は、2020年度においても受け継がれている。

これらの新しい「積極タイプ」の設問については、前者の「消極タイプ」と解答法が若干異なってくる。すなわち、従前の「消極タイプ」については、受験者は“I'm very sorry to inform you that...”といったフレーズで説明をしなければいけないのに対し、後者の「積極タイプ」では、受験者は“That's a great idea!”と明るく共感を示して解答を始めることができる。具体的な解答例については、第2章「解答・解説」を参照されたい。

筆者は、出題傾向に関する解説講義を次のYouTube動画において行っているので、併せて視聴されることをお勧めする。

▶ 出題傾向についてのYouTube動画講義

	
<p>これが出た！全国通訳案内士試験二次口述！歴史的年度の出題は、やはり過去問と世相を反映！</p>	<p>実務質疑でどう答える？全国通訳案内士試験二次口述の新課題の趣旨を解析し通訳ガイドとしての解答パターンを解説！過去問再現から学ぶ3</p>

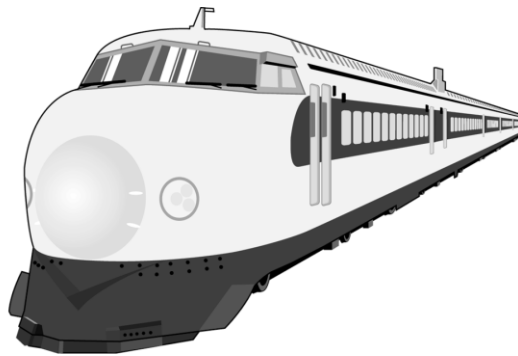
MEMO



第2章

解答・解説

・ 時間帯 1 & 2 & 3



本章の内容

本章では、本試験の時間帯 1～3 における出題につき、解答例を示した上で解説を加える。

課題は、出題された順に、①プレゼンテーション問題(プレゼン&質疑)、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)、の 3 つであり、この順番で検討する。

なお、時間帯 4～6 における出題分の解答例と解説については、下巻に掲載予定である。

時間帯 1（面接時間 10:00-11:00）

問題セット 1（1-1 外国語訳が「掃除」の組）

プレゼンテーション問題

テーマ

- ① 大政奉還
- ② 免許返納
- ③ 一汁三菜

※各プレゼン例の朗読音声は、別売書籍『モデル・プレゼンテーション集 過去問編⑩』の添付 CD に収録

解答・解説

① 大政奉還

解答の指針

通訳ガイド試験の超定番ジャンル「幕末・明治維新」からの出題である。この分野は、2018 年度までやや鳴りを潜めていたが、2019 年度にズバリ「明治維新」で復活し、今回の出題に至った。ただ、二次口述のプレゼンテーションにおいて「明治維新」は複数回出題されているものの、「大政奉還」のお題では初出である。いずれにせよ、この頻出分野については知識及び語彙・表現を満遍なくしっかりと押さえておくべきである。

プレゼンテーションの構成としては、開国から幕末の動乱に至った歴史的経緯を、まず説明することが必要である。この部分は、明治維新関連の類題が出た場合にも使える汎用性があるので、しっかり準備しておいて損はない。大政奉還における登場人物としては、坂本龍馬と徳川慶喜が最も重要であろう（歴史上の人物に興味を置くのも通訳ガイド試験の伝統である）。

観光の視点からは、大政奉還に関連する史跡等を紹介することができる。慶喜が大政奉還を発表した場所である二条城は、世界遺産でもあり、有名である。大政奉還の後に無血開城がなされた江戸城（皇居）も有名な観光地である。

本プレゼン例は、登場人物として徳川慶喜を主人公に据え、具体的な観光情報の提供は省き、純粋な歴史解説のプレゼンとして構成した。大政奉還が成ったのは「天皇の下における日本人」という意識の存在が原因であ

る、と分析し、この旨は象徴天皇制を採用する日本国憲法下の現代日本にも通ずる、とまとめることにより、過去と現在が結びついた歴史の解説となっている点に注意されたい。

プレゼンテーション例

I would like to talk about **Taisei Hokan**.

Taisei Hokan is a historical event in which the last Tokugawa Shogun, Yoshinobu, voluntarily returned power to Emperor Meiji in 1867. It led to the Meiji Restoration, ending feudalism and beginning the modernization of Japan.

Since the mid-19th century, when Western powers pressured Japan into abandoning its isolationism, the Shogunate's authority had declined. Anti-Shogunate clans came together under the Emperor's authority to defeat the Shogunate. When they were about to take military action, Yoshinobu outwitted them with Taisei Hokan to remove the cause of the war.

Frustrated anti-Shogunate clans continued provoking Yoshinobu afterwards. Having been raised in a strict Imperial loyalist family, Yoshinobu judged being labeled "an Emperor's enemy" as the worst choice. He agreed to surrender Edo Castle, the then base of the Shogunate and the present-day Imperial Palace, without bloodshed. Yoshinobu retired and lived a long, quiet life well into the 20th century.

A historic milestone in which a capable dictator gave up power voluntarily, Taisei Hokan signifies that, despite the division during feudal days, the Japanese had maintained a sense of unity under the Emperor, which still goes today. I hope this helps you appreciate Japanese history. Thank you. (200 words)

英語表現

- historical event 歴史上の出来事
- voluntarily [vɒləntɛərɪli] 自ら進んで
- the Meiji Restoration [rɛstərɛɪʃən] 明治維新

- feudalism [fjú:dəlɪzəm] 封建制度
- modernization [mʌdənəzɪʃən] 近代化
- Western powers 西欧列強
- abandon [əbændən] 廃止する
- isolationism [aɪsələɪʃənɪzəm] 孤立主義
- clan [klæn] 藩
- come together 協働する
- authority [əθú:rəti] 権威
- military action [mɪlɪtəri] 軍事行動
- outwit [ˈaʊtwɪt] 出し抜く、裏をかく
- cause [kɔ:z] 大義名分
- frustrate [frʌstreɪt] 勢いをくじかれる、悔しい思いをする
- provoke [prəvóuk] 挑発する
- Imperial loyalist [ɪmpɪəriəl loɪəlɪst] 勤王の志士
- label [lɛɪbl] レッテルを張る、汚名を着せる
- Emperor's enemy 朝敵
- surrender [sərəndə] 明け渡す、引き渡す
- base 本拠地
- the present-day [préznɪdeɪ] 今日の
- Imperial Palace [pæɪləs] 皇居
- bloodshed [blʌdʃɛd] 流血
- historic [hɪstɔ:ɪk] 重要な
- milestone [maɪlstəʊn] 画期的事件
- capable [kəɪpəbl] 有能な
- dictator [dɪktəɪtə] 独裁者
- signify [sɪgnəfaɪ] 意味する、示す
- sense of unity [jú:nəti] 一体感

プレゼンテーション例の和訳

私は、**大政奉還**についてお話しいたします。

大政奉還とは、最後の徳川将軍慶喜が、1867年に明治天皇に対し自ら進んで政権を返上した、という歴史上の出来事のことです。この結果、明

治維新が起こり、封建制度は終わり、日本の近代化が始まることになりました。

時は 19 世紀中ごろ、欧米列強が日本に対して鎖国体制を廃止するよう圧力をかけてきて以来、幕府の権威は失墜の一途をたどりました。そこで反幕府の諸藩は、天皇の権威の下、共同して倒幕を果たそうとしました。これらの藩が、まさに軍事行動を起こそうとした時、慶喜はその裏をかき、大政奉還を行って、この戦の大義名分を失わせしめたのです。

まんまと出し抜かれた反幕府の諸藩は、その後も慶喜を挑発し続けました。自らも厳しい尊王の家庭に育った慶喜は、「朝敵」の汚名を着せられることだけは避けたい、と考えました。彼は、当時の幕府の政庁で現在では皇居となっている、江戸城の無血開城に同意しました。慶喜は隠居し、長く静かな余生を 20 世紀初頭まで送りました。

大政奉還は、有能な独裁者が自ら政権を手放した、という歴史上極めて重要な出来事です。大政奉還が成ったのは、封建制度の下で分断されていた時代があったにもかかわらず、日本人が常に天皇の下、単一の国民としての意識を持ち続けてきたからだと考えられ、この理は現在でも妥当します。今回の私のお話で、皆さまが日本史についての理解を深めていただければ幸いです。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答で出された質問

- ・ 徳川幕府は、なぜ大政奉還を受け入れたのか。
- ・ 江戸幕府は、どのくらいの長さ続いたのか。
- ・ 徳川慶喜は、どこで隠居生活を送ったか。
- ・ 二条城は、年中無休で見学できるか。
- ・ 日本史において、クーデターはよく起こるものか。
- ・ 外国人が日本史を勉強する際、どの時代の歴史を学ぶことを勧めるか。
- ・ 戦国時代の歴史を学ぶことを勧めるとのことだが、戦国時代とは何世紀ごろのことか。
- ・ なぜこのトピックを選んだのか。
- ・ 大政奉還が行われた時代には、どのような変化があったか。
- ・ 大政奉還や明治維新は、日本史において重要な出来事だとのことだが、それはなぜか。

- ・将軍には、たくさんの妻や恋人がいたというのは本当か。

関連過去問

- ・「19 世紀の日本で起きた歴史的出来事」(H25 時間帯 5 プレゼン) > 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』
- ・「江戸」(H25 時間帯 6 プレゼン) > 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』
- ・「明治維新」(H26 時間帯 1 プレゼン) > 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』
- ・「黒船」(H26 時間帯 5 プレゼン) > 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』
- ・「鎖国」(H26 時間帯 3 プレゼン) > 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』
- ・「鎖国」(2020 時間帯 2 プレゼン) > 『2020 過去問詳解(上)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編⑬』
- ・「坂本龍馬」(H27 時間帯 3 プレゼン) > 『H27 過去問詳解(中)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅲ』
- ・「新選組」(H27 時間帯 4 プレゼン) > 『H27 過去問詳解(中)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅲ』

※「鎖国」について、H26 の解答例と 2020 の解答例は別バージョンのものが掲載されている。

② 免許返納

解答の指針

本題は、非観光アトラクションであり、純粋な時事社会問題の解説がテーマとなっているトピックである。非観光型は、観光アトラクション型のような「鉄板パターン」がないので、ピンポイントで準備がある場合以外は、即興プレゼンが難しいタイプの出題であるといえる。試験戦略的には、同一の組み合わせに「大政奉還」「一汁三菜」という定番トピックがあるので、このどちらかを選ぶのが得策であろう。

本題をプレゼンする際、高齢者の免許返納の問題自体は、日本固有のものではなく外国にも存在すること、を前提として押さえた上で、現在の日

本におけるこの問題の特殊性を論じるとよいであろう。

本トピックを日本の時事問題として論ずると決めた場合、真っ先に思い浮かべられるのが、東池袋の自動車暴走事件である。この事件を具体例としてプレゼンに盛り込むべきか否かは、問題である。言及することも可能であるが、この出題時点で当該事件の裁判が進行中であり、生々しさがある。よって、取り上げるのであれば、なるべく中立的に語るべく、ネガティブトピックを扱う場合と同様の注意が必要である。

本プレゼン例では、東池袋の事件は取り上げず、免許返納に関する問題の所在を一般的に述べた後、日本における免許返納に関する問題の特殊性を歴史的に分析した。これは筆者の私見であるが、車や運転に対する愛着の内容はその歴史的な原因から、車社会の代表格たるアメリカと日本では、やや異なるように思われる。

アメリカは「個人の自由」を建国の理念の1つとしており、居住移転や移動の自由は、経済的自由権であると同時に精神的自由権でもある（アメリカは、土地に縛りつけられ税金を領主から取られるヨーロッパの封建制度から逃れて自由を得るべく、新天地に「移動」してきた人々が建てた国である）。よって、自分の好きな時に好きな所へ行ける自由とは、アメリカ人にとって人格の中核を成す重要な権利であるといえる。

一方、日本人が車に対して抱く愛着は、自己の社会的経済的ステータスシンボル、といった意味合いが強いように思われる。多くの日本人（特に大都市に住む人々）にとって車は、自分が頑張って働いたことに対するご褒美であり、自分の努力や誇りを体現するものである。つまり、多くの日本人にとって車や運転は、移動のための道具というよりも、象徴としての意味合いが強いといえよう。

以上のようなことを考えながら、本プレゼン例ではトピックの分析を試み、最後は一般論で無難にまとめる構成を採った。日本社会の分析と解説を内容とするプレゼンになったので、締めくくりは“I hope this helps you appreciate current Japanese society. Thank you.”を採用した。同趣旨（お題を通して日本社会の分析をして解説する）の過去問として、平成28年度の「日本の家族」があるので、参照されたい。

プレゼンテーション例

I would like to talk about **surrendering licenses**.

With the increase in car accidents caused by elderly drivers, the elderly are being encouraged to voluntarily surrender their driver's licenses.

Yet, many elderly drivers are reluctant to surrender their licenses. While some refuse to give up driving out of confidence or pride, others do so because of their daily need for transportation.

Besides its aging society, there are other reasons why Japan suffers from this more than other countries do: Motorization started later and more suddenly in Japan than it did in America or Europe, during the postwar rapid economic growth in the 1960s. Then, young people, who are now in their 70s, worked hard while dreaming of the American lifestyle in which people were rich and drove private cars. A car-first way of thinking dominated, sacrificing trams and sidewalks. As a result, we are now living in a society where we are so attached to cars both physically and psychologically.

With the right to mobility being important for everyone, providing seniors with alternative means of transportation is vital in encouraging them to surrender their licenses to reduce tragic accidents. I hope this helps you appreciate current Japanese society. Thank you. (200 words)

英語表現

- surrender [sə'rendə] 返納する、引き渡す、放棄する
- elderly [ˈeldəli] 年配の
- driver's license 運転免許
- reluctant [rɪ'lʌktənt] 躊躇う、躊躇する
- aging society 高齢化社会
- motorization [məʊtəraɪzɪʃən] モータリゼーション、自動車化
- postwar [pəʊstwɔːə] 戦後の、第二次世界大戦後の
- private car マイカー

ページ中略

全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

問題「現金の持ち合わせがない」

【シチュエーション】

お客様は、日本の地方に観光に来て買い物をしようとしたところ、お店がキャッシュレス決済に対応しておらず、現金しか受け付けてもらえません。お客様はクレジットカードが使えるものと思っていたため、現金の用意がなく、困っておられます。通訳案内士として、あなたはどのように対応しますか。

【条件】

お客様は若いカップルで、時間の融通が利く個人旅行者です。1週間の滞在予定ですが、あなたは本日のみのガイドを依頼されています。

解答の指針

本問の設定において、解決策は「カード等を用いて地方で現金を引き出す方法」をお客様に教えること以外にはないものと思われる。「ガイドが立て替える」というのも考えられるが、試験上はともかく、本物の業務の場合は、お金の貸し借りはトラブルの元になりそうなので、できるだけ避けた方がよいであろう。そうだとすると、本問は、具体的なキャッシング方法についての知識が必要な問題であるといえる。

解答例

I see the problem. Many people still prefer cash here. There are ways to withdraw cash using credit cards even in rural areas in Japan. Post offices, convenience stores such as 7-Eleven, and major Japanese banks have ATMs from which you can withdraw Japanese cash with most major credit cards issued abroad. These facilities can easily be located by Google Map, and the ATMs will work in multiple languages. Let me start searching for the closest one on my smartphone.

英語表現

- withdraw [wiðdrɔ:] 引き出す
- post office 郵便局
- multiple [mʌltəpl] 多種の

解答例の和訳

よくわかりました。日本では、まだキャッシュを好む人が多いのです。日本の地方でも現金を引き出す方法があります。郵便局、セブンイレブンのようなコンビニ、大手銀行の ATM を使えば、海外で発行された大手クレジットカードを使って日本の現金を引き出すことができます。こうした場所は、グーグルマップで簡単に見つけることができますし、これらの ATM は、多言語に対応しています。さっそく一番近いものを、私のスマホでお探ししますね。

MEMO



多目的（多機能）トイレ

多目的（多機能）トイレとは、車いす使用者が介助者を伴って利用できる広さに加えて、手すり、オストメイト対応の設備、おむつ替えシート、ベビーチェアなどを備えることで、車いす使用者だけでなく、高齢者、障害者、子ども連れなどの多様な人が利用可能としたトイレのことである。

▶ 出題についての YouTube 動画講義

<p>「みんなのトイレ」のご案内方法は？知らないとヤバイ！全国通訳案内士試験二次口述プレゼン出題「正しい通訳ガイド」シリーズ</p>	<p>銃刀法違反？知っておくべき知識「日本刀」― 20 全国通訳案内士試験二次口述の実務質疑にこんな問題が出た！</p>

第3章

「予定内容について」 掲載のサンプル問題

- ・ 文書「予定内容について」の全文面
- ・ サンプル問題の解答例



本章の内容

文書「予定内容について」とは、平成 30（2018）年度に二次口述の試験形式の変更があった際、その内容について試験実施団体 JNTO が受験者に対して告知する目的で、一次通過者発表（11 月）の後に公表したものである。

例年、その年の通訳ガイド試験の内容は、春に「ガイドライン」にて告知される。平成 30 年度も、3 月に「ガイドライン」が公表されていた。既述の通り、この年は通訳案内士法の改正に伴い通訳ガイド試験がリニューアルされた年であり、二次試験について新課題「実務質疑」の追加が行われた。この新課題につき当該ガイドラインには一定の記述がなされたが、未だ抽象的であり、その実態は判然としていなかった。

この点につき、二次口述試験直前の 11 月に至って、ようやく試験実施団体 JNTO がサンプル問題を示す等してより具体的に説明を試みたのが、「予定内容について」である。この「予定内容について」は、新課題の内容を受験者が知るための貴重な材料であり、各予備校等も当該文書を研究し、対策を講じた。

しかし、実際の本試験では、新課題「実務質疑」の出題は、日本語で「シチュエーション」と「条件」が示された問題用紙を受験者に手渡し、それを黙読させた上で試験官との質疑を行う、という形で行われた。この「問題用紙を黙読させる」という部分について「予定内容について」に全く記載がなかったため、受験者にとって不意打ちとなった。

新形式 2 年目である 2019 年度も、「予定内容について」の記載はそのままで同様に公表された。しかし、新形式 2 年目の当該年度には、すでに前年の過去問があったため、きちんと過去問の情報を把握していた受験者は、「予定内容について」の記載に拘わらず、こうした混乱を避けることができた。

2020 年度も、「予定内容について」は同様に発表された。当該年度は、コロナ対策についての言及が加わった点が特徴である。

以上のように、「予定内容について」に掲載されたサンプル問題は実際の出題内容をあまりよく反映していないので、受験者としては本試験の過去問の研究をより重視すべきである。ただそれでも、試験実施団体の公式発表である以上、受験者としては一応、「予定内容について」の内容も押さえておくべきである、との判断から、ここに当該文書とそこに示された例題の解答・解説を例年通り掲載することにする。

文書「予定内容について」の全文面

2020年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について

2020年度の口述試験においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取ると同時に、口述試験の性質（明確に声が聞こえること、面接官に口元や表情が見えること）に考慮し、面接時に限り、マウスシールドを着用していただきます（面接時以外は、不織布マスクや布マスクを各自で用意してください。）。なお、マウスシールドは当日全員に配布致しますので、個人でのご用意は不要です。

1. 試験時間は全体を通じて10分程度です。

2. 口述試験の進め方は以下の通りです。

- ① 受験者は、その場で配付される日本語で書かれた3つのキーワードから1つを選択し、そのテーマについて受験外国語で2分程度のプレゼンテーションを行って下さい。

- (例題) 1. 絵馬
2. 高野山
3. インスタ映え

- ② ①のプレゼンテーションの内容について、受験外国語で質問をしますので、受験外国語で回答して下さい。

- ③ 次に、試験委員が日本語で読み上げる内容について、1分程度で受験外国語に訳して下さい。配付した用紙と筆記用具を用いてメモを取っても構いません。

- (例題) 茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて、感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。

- ④ ③の内容に関連して、日本語で通訳案内の現場で想定される状況に全国通訳案内士としてどのように対応するかを問います。試験委員をお客様と想定し、受験外国語で受け答えして下さい。

- (例題) お客様が茶室に入る前に、茶道には作法や決まり事があると聞いて緊張しています。あなたはお客様に対し、どのように声をかけますか。

3. 2①及び2③の内容は、全国通訳案内士試験ガイドラインにある、日本の地理、歴史並びに産業・経済・政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材とします。なお、上記の出題例は、あくまでも参考例です。

4. 試験委員は2名（原則として、受験外国語母語話者1名、日本語母語話者1名）です。

以上

問題と解答例

◆プレゼンテーション問題 (①②)

プレゼンテーションについては、過去に実際に出題されたものが3題、そのまま掲載された。これらのトピックの解答例については以下の書籍を参照されたい。

1. 絵馬

- (1) 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- (2) 『H29 通訳案内士試験二次口述過去問詳解』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ』

※(1)と(2)とでは、別バージョンの解答例が掲載されている。

2. 高野山

- (1) 『H25-26 過去問詳解ダイジェスト』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- (2) 『H28 過去問詳解ダイジェスト』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅵ』

※(1)と(2)とでは、別バージョンの解答例が掲載されている。

3. インスタ映え

- (1) 『H29 通訳案内士試験二次口述過去問詳解 (上)』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ』

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳) (③)

—試験官が読み上げる日本語の内容—

茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。(111字)

ページ中略

第5章

試験会場関連情報

- ・ 本試験の運営状況
- ・ 会場の雰囲気・付近の様子
- ・ 受験するにあたっての注意



東京会場 日本大学 三軒茶屋キャンパス (2020/12/13 著者撮影)

本章の内容

本章では、本試験会場で実際にどのように口述試験が運営されているか、現場の状況等について詳述する。本来、運営については、運営側がイニシアチブを取り、受験者側はそれに素直に従っておけば済むとも考えられる。

しかし、受験者が試験における解答の内容で勝負すべく、全精力を集中するためには、脚下照顧、足元をすくわれることなきよう、手続や試験運営等に関する情報をあらかじめ承知しておくことが、極めて有効である。面接室外でのハプニングによってストレスを受ける危険を最小化し、実力をいかに発揮して合格を確実にするために、ぜひ熟読されたい。

<2020年度全国通訳案内士試験 口述試験のご案内>

口述試験は下記により実施いたします。

受験票、本通知票、身分証明書（写真付き）の3点を必ずご持参のうえ受験してください。（忘れた方は受験できない場合があります。）

（注）受験票は、筆記試験前の2020年8月に送付したものです。紛失した場合は11月30日までに上記問い合わせ先にご連絡ください。

期日を過ぎた場合は、試験当日に会場で再発行いたしますので、本通知票、身分証明書（写真付き）を必ずご持参ください。

試験日	2020年12月13日（日）	
選択外国語	英語	
試験会場	成蹊大学	
受付場所	9号館	
受付時間	13時00分～13時25分 の間に受付を済ませ、係員の指示に従ってください。 <時間厳守>	
試験時間	14時00分 から	
解散時間	15時15分	
持ち物	受験票、本通知票、写真付き身分証明書（受験票に記載のもの）、メモ用筆記用具（えんぴつ又はボールペンに限る）	

試験会場案内図	成蹊大学 9号館	(右地図参照)
所在地	東京都武蔵野市吉祥寺北町3丁目3-1	
交通案内	<ul style="list-style-type: none"> 吉祥寺駅北口より徒歩約18分 吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車徒歩1分 	
(注意1)	試験会場およびその周辺への駐車・駐輪はできません。試験当日は鉄道等の公共交通機関を利用してください。	
(注意2)	試験会場への電話等による道順の照会等は絶対に行わないでください。	
(注意3)	遅刻をした場合には、受験ができない場合がございます。会場までの交通機関の時刻等をあらかじめ確認し、時間には余裕を持ってお越しください。	
(注意4)	会場内は全面禁煙です。	
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 試験開始から解散まで最長75分を予定しております。 受付後から拘束時間となり、ご自身の試験が終了しても解散の指示があるまでお待ちいただきます。お待ちいただけない場合は、試験を無効とします。 受付後、解散までは、携帯電話等通信機器の使用を禁止します。 受験者本人以外の試験会場への入場はご遠慮ください。 受験に際しては、係員の指示に従ってください。上記に違反した場合は、係員の判断により退出または失格とさせていただきます。 	

- 【注意】
- 本通知票は、口述試験の受験の際に必要ですので、大切に保管してください。
 - 試験当日に緊急的に問い合わせる際は03-3518-9018までお電話ください（8:30～16:00）。
 ※災害・緊急時の情報については、全国通訳案内士試験Webサイト（https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/index.html）またはfacebook（<https://www.facebook.com/tsuyakuguide>）をご覧ください。

受験者のための会場案内（各受験者に郵送された書面の一部）

本試験の運営状況

本試験当日の会場では、効率よく整然と多くの受験者に面接を受けさせ、かつ問題の漏洩を防ぐため、綿密なスケジュールが運営側によって組まれている。

受験者にとって実際にストレスとなり得るのは主として、①建物内での移動、②問題漏洩防止のための行動制限等、の2つである。この点について解説する（なお、本年度は特別な事情から、感染防止策という新しいファクターが加わったが、これについては後述する）。

建物内での移動について

受験者は、受付を済ますと以降、試験終了・解散まで、①大控室⇒②小控室⇒③面接室前の椅子⇒④面接室⇒⑤一時待機場所⇒⑥試験終了者待機室、と6つの場所を移動させられる。これは、遺漏なくスケジュール通りに面接を受けさせ、問題内容の漏洩を防ぐ趣旨である。そのタイミングについては、次頁以降のタイムテーブルを参照されたい。各移動については、係員の誘導に従えば特に問題はない。

試験運営受託者の交代について

全国通訳案内士試験がリニューアルされた平成 30（2018）年度から令和 2 年（2020）年度までの3年間は、当該試験の運営は、日本出版販売株式会社がこれを JNTO より受託して行った。令和 3（2021）～令和 4（2022）の2年間は、株式会社 TKP コミュニケーションズが、同事業を受託して行う。

この事業者の交代により、二次口述試験のタイムテーブルも、若干の変更の可能性がある（前回、平成 27～29 年の3年間に担当した株式会社 ICS コンベンションデザインから日本出版販売株式会社へ変わった際も、小さな変更が行われた例がある）。ただ、受験者に大きな影響を及ぼすような変更はないものと思われる（前回の事業者交代時も、運営スタッフの休憩時間の若干の変更と、それに伴う面接時間帯の移動があった程度であり、受験者に混乱等を生ずるものではなかった）。

本試験当日のタイムテーブル

	時間帯 1 (10:00-11:00)	時間帯 2 (11:00-12:00)	時間帯 3 (13:00-14:00)	時間帯 4 (14:00-15:00)	時間帯 5 (15:30-16:30)	時間帯 6 (16:30-17:30)
9:00	受付 9:00-9:25					
9:30	大控室にて 全体説明 9:30-9:45					
10:00	小控室へ 順次移動 9:45～					
10:30	面接時間 10:00-11:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)	受付 10:00-10:25				
		大控室にて 全体説明 10:30-10:45				
		小控室へ 順次移動 10:45～				
11:00	11:15まで 待機室にて 待機し解散	面接時間 11:00-12:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)				
11:30						
12:00	12:15まで 待機室にて 待機し解散					
12:30		受付 12:00-12:25				
		大控室にて 全体説明 12:30-12:45				
13:00		小控室へ 順次移動 12:45～				

スタッフ
ランチ
タイム

面接官
ランチ
タイム

	時間帯 1 (10:00-11:00)	時間帯 2 (11:00-12:00)	時間帯 3 (13:00-14:00)	時間帯 4 (14:00-15:00)	時間帯 5 (15:30-16:30)	時間帯 6 (16:30-17:30)
13:00			面接時間 13:00-14:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)	受付 13:00-13:25		
13:30				大控室にて 全体説明 13:30-13:45		
				小控室へ 順次移動 13:45～		
14:00				14:15 まで 待機室にて 待機し解散		
14:30			面接時間 14:00-15:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)			
				受付 14:30-14:55		
15:00				15:15 まで 待機室にて 待機し解散	大控室にて 全体説明 15:00-15:15	面接官 コーヒー ブレイク
15:30					小控室へ 順次移動 15:15～	
16:00				面接時間 15:30-16:30 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)	受付 15:30-15:55	
					大控室にて 全体説明 16:00-16:15	
16:30					小控室へ 順次移動 16:15～	

	時間帯 1 (10:00-11:00)	時間帯 2 (11:00-12:00)	時間帯 3 (13:00-14:00)	時間帯 4 (14:00-15:00)	時間帯 5 (15:30-16:30)	時間帯 6 (16:30-17:30)
16:30					16:45 まで 待機室にて 待機し解散	面接時間 16:30-17:30 (1人 11分 ずつ、各面接 室につき 4人 面接)
17:00						
17:30						
					17:45 まで 待機室にて 待機し解散	
18:00						
18:30						
19:00						

※上記タイムテーブルは、受験案内や受験者からの情報を基に、著者が推測して復元したものである。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策について

本年度は、試験会場で感染症対策を取るという特殊な必要性があり、試験運営に影響した。この点についてまず述べる。

まず、試験実施団体より事前に注意事項の告知があった。参考までにウェブに掲載された内容を以下、引用する。

▶以下引用

2020年度全国通訳案内士試験における新型コロナウイルス感染症への対策について

2020年度全国通訳案内士試験口述試験は、12月13日（日）に実施します。但し、試験当日までの間に新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクが更に高まるなど、取り巻く状況が変化した場合等には、実施の方針について変更となる可能性があります。

今後、試験実施に関する追加情報等がある場合には、全国通訳案内士試験ウェブサイト

(https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/index.html)に掲載しますので、ご確認いただくようお願いします。

《受験に当たっての注意事項》

受験に際して、以下の対応をお願いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

1. 試験当日は、ご自宅において必ず検温を行い、体調を確認してください。
2. 体調不良の方
 - (1) 以下の方については、他の受験者等への感染のおそれがあるため、当日の受験を控えていただくようお願いします。
 - ①新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない方
 - ②37.5度以上の熱や軽度であっても咳などの風邪の症状が続く、強いだるさ息苦しさといった症状がある方
 - ③濃厚接触者に該当する方

※ご自身や同居の方が保健所等の公的機関、企業及び組織から自宅待機

等の指示を受けている方等

(2) 試験会場で上記②の体調不良が見られる場合は、必ずその旨を試験官等へお申し出ください。試験中止をお願いさせていただく場合があります。

※体調不良と思われる方には、必要に応じて試験官が体温測定等を要請する場合がありますので、その際にご対応いただくようお願いします。

なお、上記に該当する方などについての再試験・受験手数料の返還などの措置は予定しておりませんので、受験者におかれては、受験当日まで十分な体調管理をお願いします。

3. 試験会場での注意

試験会場では、感染防止のため、以下の点に留意してください。

①マスクの着用

試験会場では、感染予防のため、マスクの着用をお願いします。マスクはご自身でご用意ください。なお、受付時の本人確認の際には、試験係員の指示に従い、マスクを一時的に外して頂く場合があります。

②マウスシールドの着用

口述試験時間には、口元が見えるマウスシールドを着用していただきます。(マウスシールドは主催者が準備し受験者に配布します。使用後はお持ち帰りいただきます。)

③手指の消毒

各所にアルコール消毒液を設置しますので、入室時には必ず手指を消毒してください。携帯用手指消毒用アルコールをお持ちの方は、持参しても差し支えありませんが、試験中はカバンにしまってください。

④距離の確保

控室の座席の間隔は例年より広くしています。着席時以外においても、受験者同士の距離間隔を保つようお願いします。また、試験前後も対面での会話や飲食等、受験者同士の接触はお控えください。

⑤試験室の換気

試験室は、適宜、ドアや窓を開放するなどの換気を行います。室温の高低に対応できるよう試験当日の服装には注意してください。

⑥口述試験時間中はメモを取っても結構ですが、筆記用具(えんぴつ又はボールペンに限る)は、ご自身でご用意してください。メモ用紙は主催者が受験室に用意するものを使用してください。メモ用紙は持ち帰れません。

4. その他

①交通機関の運行遅延や入場時の混雑回避のため、試験当日は余裕を持ってお出かけください。

②感染症防止対策の徹底に関し、試験係員の指示に従わない場合等には、受験をお断りすることがあります。

また、試験会場において集団感染が発生した場合は、受験者の連絡先等の個人情報を、保健所等の公的機関に提供することがあります。

▶引用終わり

入場にあたり、各自のマスク着用は無論である。受付前に、検温、手の消毒が行われた。受付の順番待ちの列では、ソーシャルディスタンスの保持が求められた。

受付時に、受験者は必要書類を呈示すると、例年配布される番号の書かれた首から下げるネームホルダーに加え、透明のマウスシールド（シンプルで安価な組立タイプ）が渡された。

▶ マウスシールド装着感についての YouTube 動画講義のサムネイル

▶ YouTube 動画

今年の面接はマウスシールド着用！事前に使用感を確認し備え万全！全国通訳案内士試験二次口述会場での感染対策



控室にも消毒液が備え付けられた。控室でマウスシールドを組み立てて着用するように指示があった。マウスシールドは、会場で配布されたもの以外のも（個人で用意したもの）の使用は不可とされた。座席もあらかじめ指定されており、各三人机に1人、前後も重なり合わないようレイアウトされていた。

面接室では、受験者がマウスシールドを着用したのに対し、試験委員は通常のマスクを着用していた。受験者と試験委員との距離は2、3メートル

ページ中略

第6章

試験対策

- ・ お勧めの勉強法と教材
 - ・ 過去問出題一覧表
 - ・ 教材の入手先



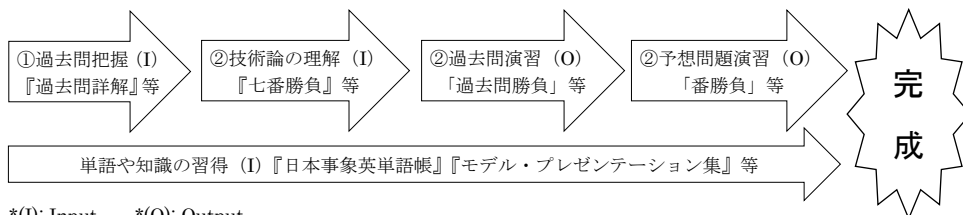
本章の内容

前章までで、全国通訳案内士試験の二次口述の全体像が明らかになったであろう。本章では、この試験で問われる各課題（プレゼンテーション・外国語訳・実務質疑）の解答に必要な知識・技術をどのようにして習得し、試験に合格するための準備を進めればよいか、について具体的に説明する。また、お勧めの教材についても紹介する。様々な教材の中でも、YouTube 動画は、誰でも無料で気軽に視聴できるものであるから、利用しない手はないであろう。視聴方法については、第1章の冒頭を参照されたい。

お勧めの勉強法と教材

総論

勉強には、インプットの面とアウトプットの面がある。インプットは、必要な知識等を頭に入力することである。アウトプットは、入力した知識を実際に出力（演習）することである。そして、順序としては、インプットを先に行い、アウトプットをその後で行うのが原則である。しかし、インプットとアウトプットは、相互補完的であるので、実際には交互に、あるいは同時並行で行うことになる。具体的には、①過去問の把握（Input）⇒②技術論の理解（Input）⇒③過去問演習による理論の実践（Output）⇒初見の予想問題による演習（Output）、の順番で行い、これと並行して単語や日本事象に関する知識などの習得（Input）を常に行うべきである。



インプット

①過去問の把握

受験勉強は過去問から、は不変の鉄則である。過去問を最初に検討する理由は、(1)当該試験が求めている知識や技術が明らかになり、勉強の範囲が明確になる（無駄なことをせずに、効率的な勉強ができる）、(2)過去問は繰り返す（資格試験は、当該資格保持者が一定の知識や技術を持っていることを担保するのがその目的だから、試験で問う内容も「一定」にならざるを得ない、つまり、ある程度の周期で、同じような問題が必ず出る）、(3)競争相手は皆、過去問を知っている（資格試験は競争試験である以上、競争相手が当然に知っていることを知っておかないと、最初からハンディを背負い込むことになる）、の3つである。なお、ここでいう「過去問」とは、直近のものだけではなく、全部の過去問（平成25年度以降全て）を指す。

全国通訳案内士試験に関しては、本シリーズ『過去問詳解』を研究し、先にご紹介した YouTube 動画「新・面接再現動画」を視聴すれば、この

ページ中略

過去問出題一覧表

令和2年度 2020年12月13日(日)実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
1 10:00-11:00	1	①大政奉還 ②免許返納 ③一汁三菜	掃除	日本の小学校を見学したい
	2	①春一番 ②ワーケーション ③おくのほそ道	和食	日本の一般家庭で一汁三菜
2 11:00-12:00	1	①サブスクリプション ②鎖国 ③お食い初め	印鑑	お土産に自分の印鑑
	2	①手締め ②レジ袋有料化 ③駅伝	新幹線	台風で新幹線が運休
3 13:00-14:00	1	①一期一会 ②熊野古道 ③ラーメン	手洗い	手洗い後に手が拭けない
	2	①小倉百人一首 ②梅雨 ③みんなのトイレ(多目的トイレ)	キャッシュレス	現金の持ち合わせがない
4 14:00-15:00	1	①熊手 ②黒部ダム ③アマビエ	京都	京都で神社仏閣に飽きた
	2	①新しい生活様式 ②高野山 ③入湯税	日本酒	買った酒の銘柄違い
5 15:30-16:30	1	①敷金礼金 ②リモート 飲み会 ③刺身のつま	日本刀	日本刀を土産に持ち帰りたい
	2	①日本の感染症対策 ②飴細工 ③姫路城	旅館	朝食を早く食べて出立したい
6 16:30-17:30	1	①風致地区 ②神輿 ③除夜の鐘	皇居外苑	皇居外苑での熱中症予防策
	2	①講談 ②マイナンバー カード ③ゆず湯	相撲	相撲の全取り組みを見るのはきつい

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

※「予定内容サンプル」は2020年度にも出たが、前年度の問題と同一なので省略した。

2019年度 2019年12月8日(日)実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
1 10:00-11:00	1	①明治維新 ②おでん ③ゴミの分別	相撲	相撲チケット紛失
	2	①万葉集 ②まんじゅう ③ラッシュアワー	箱根	せっかくの箱根で 悪天候
2 11:00-12:00	1	①桜島 ②桃の節句 ③計画運休	様々な寿司	寿司作り体験を したい
	2	①風鈴 ②消費増税 ③道の駅	日本の祭り	夏祭りに 参加したい
3 13:00-14:00	1	①百舌鳥古市古墳群 ②鯛焼き ③メイドカフェ	桜前線	東京の桜が 既に終わっていた
	2	①軽井沢 ②千羽鶴 ③テレワーク	紅葉	日光の紅葉が 既に終わっていた
4 14:00-15:00	1	①竿燈まつり ②タピオカ ドリンク ③気象警報	寿司の歴史	生魚が 食べられない客
	2	①金沢 ②ご当地(B級) グルメ ③里山	御節料理	夏だけ御節料理 を食べてみたい
5 15:30-16:30	1	①隠れキリシタン ②卵か けご飯 ③宅配ボックス	着物	日本庭園で着物を 着て写真撮影希望
	2	①天橋立 ②味噌田楽 ③カプセルホテル	花火	花火大会での混雑
6 16:30-17:30	1	①阿蘇山 ②お好み焼き ③聖地巡礼(マンガ、アニ メなどの)	多様化する 通訳ガイド スキル	外国製車椅子の 故障
	2	①ビアガーデン ②分煙 ③国定公園	通訳ガイドの 自然災害対応	地震による 新幹線の停止

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

※「予定内容サンプル」は2019年度にも出たが、前年度の問題と同一なので省略した。

平成 30 年度 2018 年 12 月 9 日 (日) 実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計 36 題)	外国語訳(計 12 題)	実務質疑(計 6 種)
1 10:00-11:00	1	①正倉院 ②集団登下校 ③働き方改革	平等院鳳凰堂	生憎お目当てが 工事中
	2	①鎌倉 ②無礼講 ③渋谷スクランブル交差点	鹿苑寺金閣	生憎お目当てが 工事中
2 11:00-12:00	1	①根回し ②除夜の鐘 ③太陽光発電	無形文化遺産 和食	近くにない店
	2	①日光東照宮 ②割り勘 ③灯籠流し	和食の 伝統と歴史	近くにない店
3 13:00-14:00	1	①リボ払い ②流鏝馬 ③猫カフェ	居酒屋	近くにない店
	2	①盆踊り ②路上喫煙 ③元号	ラーメン	ハラル食
4 14:00-15:00	1	①琵琶湖 ②鹿威し ③スタジオジブリ	公衆浴場と刺青	公衆浴場での 刺青問題
	2	①終活 ②打ち水 ③食品サンプル	旅館	急な食事変更
5 15:30-16:30	1	①鳥居 ②お花見 ③水引	火山と温泉	公衆浴場での 刺青問題
	2	①神対応 ②三が日(正月) ③グリーン車	奈良	半日ツアーで まわりきれない
6 16:30-17:30	1	①杉玉 ②賽銭箱 ③もんじゃ焼き	浅草	半日ツアーで まわりきれない
	2	①リニアモーターカー ②彼岸 ③知床半島	京都の世界遺産	半日ツアーで まわりきれない

サンプル問題 2018 年 11 月発行「口述試験の予定内容について」記載

プレゼンテーション(計 3 題)	外国語訳(計 1 題)	実務質疑(計 1 種)
①絵馬 ②高野山 ③インスタ映え	茶道	茶室での作法

平成 29 年度 2017 年 12 月 3 日（日）実施

時間帯	組	通訳（計 12 題）	プレゼンテーション（計 36 題）
1 10:00-11:00	1	カツ井	①交番 ②インスタ映え ③奥入瀬溪流
	2	梅雨	①たこ焼き ②伏見稲荷大社 ③待機児童問題
2 11:00-12:00	1	パクチー	①夏祭り ②前方後円墳 ③テレビ離れ
	2	三鷹の森ジブリ 美術館	①シルバーウィーク ②爛酒 ③絵馬
3 13:30-14:30	1	演歌	①潮干狩り ②回転寿司 ③神道
	2	屋形船	①コミックマーケット ②宮内庁 ③満員電車
4 14:30-15:30	1	プレミアム フライデー	①巖島神社 ②夏目漱石 ③割烹着
	2	道後温泉	①大相撲 ②ちらし寿司 ③門松
5 16:00-17:00	1	花火大会	①民泊 ②ジンギスカン ③千羽鶴
	2	ねぶた祭り	①お刺身 ②お歳暮 ③一富士二鷹三茄子
6 17:00-18:00	1	日光東照宮 陽明門	①風呂敷 ②七草 ③ドローン
	2	摩周湖	①鯉のぼり ②おせち料理 ③桜前線

平成 28 年度 2016 年 12 月 4 日（日）実施

時間帯	組	通訳 (計 12 題)	プレゼンテーション (計 36 題)
1 10:00-11:00	1	干潟	①おぼんざい料理 ②下駄 ③日本の免税制度
	2	そば	①御朱印 ②盆栽 ③ラムサール条約
2 11:00-12:00	1	鳥居	①ひなまつり ②日本の世界遺産 ③江戸城
	2	長崎の眼鏡橋	①国立西洋美術館 ②茶室の特徴 ③厄年
3 13:00-14:00	1	富士山での 禁止事項	①日本の城の種類 ②人力車 ③川柳
	2	寿司飯の 作り方	①神社 ②日本の家族 ③合気道
4 14:00-15:00	1	山梨の 果物栽培	①鏡開き ②江戸時代の身分制度 ③お盆
	2	砺波の チューリップ	①日本の国立公園 ②高野山 ③天皇制
5 15:30-16:30	1	迎賓館	①振袖 ②グリーンツーリズム ③和紙
	2	日本橋	①初詣 ②七夕 ③文化の日
6 16:30-17:30	1	大阪	①提灯 ②漆器 ③駅の自動改札
	2	偕楽園	①お伊勢参り ②七五三 ③納豆

平成 27 年度 2015 年 12 月 13 日 (日) 実施

時間帯	組	通訳 (計 26 題)	プレゼンテーション (計 78 題)
1 10:00-11:00	1	東京湾	①カプセルホテル ②ゴールデンルート ③一万円札に描かれている人物
	2	財布が 戻った	①さっぽろ雪まつり ②日本語の数の数え方 ③恵方巻
	3	福岡と 大陸の関係	①招き猫 ②小京都 ③軍師
	4	着物の種類	①お受験 ②火祭り ③仏像の種類と特徴
2 11:00-12:00	1	山「なし」県	①銭湯 ②出羽三山 ③書院造
	2	灘の酒	①大奥 ②流行語大賞 ③西国三十三所
	3	町人文化	①聖徳太子 ②今年の漢字 ③日本の湖
	4	駅弁	①暖簾 ②渋谷スクランブル交差点 ③家元制度
3 13:00-14:00	1	日本の城	①冬至 ②街コン ③けん玉
	2	地獄谷 野猿公苑	①鬼 ②日本の城の種類と特徴 ③日本のバレンタインデー
	3	ラジオ体操	①合掌造り ②坂本龍馬 ③金沢の名産品
	4	扇子	①鍋料理 ②ししおどし ③日本の人気スポーツ
4 14:00-15:00	1	日本の家電	①風林火山 ②田んぼアート ③漆器
	2	築地市場	①徳川家康 ②お地蔵 ③立山黒部アルペンルート
	3	神道と自然	①日本の野生動物 ②新撰組 ③お茶漬け
	4	おせち料理	①千円札に描かれている人物 ②道の駅 ③地下足袋
5 15:30-16:30	1	青森のリング	①東海道五十三次 ②殺陣 ③高山祭
	2	忍者	①日本の蒸気機関車 ②神楽 ③忍者
	3	和食	①路面電車 ②日本のミュージカル ③卑弥呼
	4	京都の 景観規制	①中山道 ②金閣寺の建築様式 ③日本のアイドル
6 16:30-18:00	1	日本人と桜	①日本のハロウィン ②風鈴 ③血液型
	2	力士と儀式	①出雲大社 ②源氏物語 ③懐石料理
	3	座敷	①精進料理 ②打ち水 ③棚田
	4	源氏物語	①デバ地下 ②お彼岸 ③優先席
	5	古墳	①日本のお土産にお勧めのもの ②横綱 ③お通し
	6	歌舞伎	①おでん ②なまはげ ③日本人のくせ

平成 26 年度 2014 年 12 月 7 日 (日) 実施

時間帯	通訳 (計 6 題)	プレゼンテーション (計 18 題)
1 10:00-11:00	日本の祭り	①明治維新 ②初詣 ③日本アルプス
2 11:00-12:00	天守閣	①風鈴 ②日本の自然災害 ③古墳
3 13:00-14:00	I C カード	①日本三景 ②宝くじ ③鎖国
4 14:00-15:00	合掌造り	①厄年 ②高野山 ③日本における最大の木造建築
5 15:30-16:30	日本語の文字	①ハッピーマンデー ②黒船 ③北陸新幹線
6 16:30-18:00	飲食物を すする音	①福袋 ②東海道五十三次 ③草津温泉の特徴と行き方

平成 25 年度 2013 年 12 月 8 日 (日) 実施

時間帯	通訳 (計 6 題)	プレゼンテーション (18 題)
1 10:00-11:00	日本の地勢	①旅館 ②浮世絵 ③東京が他の日本都市と異なる点
2 11:00-12:00	秋葉原	①温泉に入る際の注意点 ②日本の季節の草花 ③日本の宗教
3 13:00-14:00	祇園祭	①日本人の年末年始の過ごし方 ②侍 ③日本のスキー場
4 14:00-15:00	新幹線	①居酒屋 ②日本の伝統芸能 ③東日本大震災後の現地の様子
5 15:30-16:30	温泉	①富士山 ②絵馬 ③19世紀の日本の歴史的出来事
6 16:30-18:00	浮世絵	①江戸 ②東北地方の見所 ③新幹線

サンプル問題 平成 25 年 5 月発行ガイドライン

時間帯	通訳 (計 1 題)	プレゼンテーション (計 3 題)
—	浅草	1. 京都の地理・地形・気候について。 2. 日本歴史の観点より、日本の首都について。 3. 一般常識の観点より、日本の人口構造について。

ページ中略

第7章

試験改正の経緯

- ・平成 25（2013）年度ガイドライン改正
- ・「平成 25 年から実施する口述試験について」
による告知
- ・平成 30（2018）年度ガイドライン改正
- ・平成 30 年度「口述試験の予定内容について」
による告知
- ・平成 31（2019）年度ガイドライン改正
- ・2019 年度「口述試験の予定内容について」
による告知
- ・令和 2（2020）年度ガイドライン改正
- ・令和 2（2020）年度「口述試験の予定内容について」
による告知
- ・令和 3（2021）年度ガイドライン改正

本章の内容

冒頭の「まえがき」で述べた如く、全国通訳案内士試験は、毎年「ガイドライン」が発表され、その年度の試験の方針が示される。

ガイドラインその他、試験実施団体が公式に発表する情報は、試験情報としては最も信頼すべき情報である。受験者が、受験業界内にあふれる様々な情報に溺れることなく、試験の実体を正しく把握するためには、常にガイドラインに立ち帰ることが必要である。そこで本章では、近年のガイドライン等、公式発表に示された試験内容の変更部分を明らかにすることにより、本試験で要求される事柄が何であるかの把握を試みる。

平成 25（2013）年度ガイドライン改正

平成 25 年 4 月 1 日に当該年度のガイドラインが発表され、改正の内容が示された。本書冒頭の「まえがき」で述べた通り、従前は「ランダムな質疑応答」であったところ、この改正により、「通訳問題」と「プレゼンテーション問題」という 2 つの明確な課題が設定され、今日の形式の基礎が作られた。

平成 25 年度改正時のガイドライン規定の新旧比較

※注目すべき点をゴシック体にて表示してある。H30 年度より合格基準点は 7 割になり、評価項目に「ホスピタリティ」が追加された。

		旧	新
試験内容	基本コンセプト	試験は、日本の地理、歴史ならびに産業、経済、政治および文化についての主要な事柄のうち 外国人観光客の関心の強いもの を題材として、受験者に 通訳案内の業務を疑似的に行わせること により実施するものとする。	試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、 外国人観光客の関心の強いもの を題材として、受験者に 通訳案内の業務を疑似的に行わせること により実施するものとする。
	問題分野	各問題群は、たとえば日本人の生活や習慣の分野から 1 問、日本の伝統文化の分野から 1 問、現代日本社会の分野から 1 問というように出題分野を統一するとともに、 時間帯 によって大きな差が出ないように 質問内容のレベルを合わせる 。	削除
合否判定		あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。その上ですべての評価項目について当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。	あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。合否判定は、原則として 6 割を合格基準点 とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。
評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り能力 ・表現力 ・発音及び文法の正確性 ・回答能力（臨機応変な反応力を含む） ・上記に掲げるもののほか、旅行者に対する配慮の適切性、通訳案内業務に対する十分な意欲等通訳案内士として必要な適性 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等） ・文法及び語彙 ・発音及び発声

◆平成 25 年度改正により、二次口述はどう変わったか？

- ①イニシアチブが「試験官」から「受験者」へ移った。
- ②「トーク」から「タスク」へと変わった（通訳と即興プレゼン+Q&A）。
- ③「情緒的主観的な就職試験」から「客観的能力判定を志向する資格試験」へと変わった。

◆現在に至るまで変わらないのは？

「外国人観光客の関心の強いもの」「受験者に通訳案内の業務を疑似的に
行わせる」⇒試験の形式は変わったが、基本コンセプトは不変。

「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知

表題のような文書が試験実施団体より発表された。まず 2013 年 2 月に発表され、続いて 5 月に改訂版が出された。ここにおいては、通訳問題とプレゼンテーション問題のサンプルが示された。具体的内容については、通訳問題につき、PEP 英語学校の DVD 教材「Sample+3」、プレゼンテーション問題につき、『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』に掲載されているので、それぞれ参照されたい。

平成 30（2018）年度ガイドライン改正

平成 30 年 3 月 30 日に、当該年度のガイドラインが発表された。通訳案内士法の改正に伴い、全国通訳案内士試験に実務科目が追加されることが示された。

平成 30 年度改正時の新旧ガイドラインにおける二次口述に関する部分の比較表

※変更・追加された部分に波線を施してある

u003cdiv data-bbox="146 715 834 893" data-label="Table">

改正前	改正後
<p><u>VI</u>. 口述試験について</p> <p>(1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するもの 	<p><u>VII</u>. 口述試験について</p> <p>(1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史、一般常識及び<u>通訳案内の実務</u>に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力につ

<p>とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。 ・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。 ・試験時間は、10分程度とする。 ・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。 ・内容は、試験官が読み上げる日本語を外国語へ通訳する「<u>通訳問題</u>」、提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験官と外国語で質疑応答を行う「<u>プレゼンテーション問題</u>」の2題とする。なお、「通訳問題」において、試験官が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認める。 	<p>いて判定するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。 ・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。 ・試験時間は、10分程度とする。 ・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。 ・内容は、試験委員が読み上げる日本語を外国語訳し、その問題文に関連した質疑を行う「<u>通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑</u>」、提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験委員と外国語で質疑応答を行う「<u>プレゼンテーション問題</u>」の2題とする。なお、「<u>通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑</u>」において、試験委員が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認
--	--

<p>(2) 合否判定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合否判定に当たっては、試験官ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な評価基準を設定しておくものとする。合否判定は、原則として6割を合格基準点とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。 <p>評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等） ・文法及び語彙 ・発音及び発声 	<p>める。</p> <p>・「<u>通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑</u>」については、試験委員に対して、<u>受験者は全国通訳案内士としての適切な受け答えをすること。</u></p> <p>(2) 合否判定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合否判定に当たっては、試験委員ごとに基準が大きく異なることがないよう、あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な評価基準を設定しておくものとする。合否判定は、原則として7割を合格基準点とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。 <p>評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等） ・文法及び語彙 ・発音及び発声 ・<u>ホスピタリティ（全国通訳案内士としての適切な受け答え等）</u>
--	---

(全国) 通訳案内士試験ガイドラインより抜粋

平成 30 年度「口述試験の予定内容について」による告知

当該文書は、同年度の一次選考通過者発表があった平成 30 年 11 月 8 日に発表され、各課題につきサンプル問題が示された点は既述の通りである。詳しくは、第 3 章を参照されたい。

平成 31（2019）年度ガイドライン改正

当該文書は、平成 31 年 3 月 27 日に発表された。一次筆記試験の免除規定及び合格基準点の事後調整に関する文言を除けば、前年度のガイドラインからの実質的な変更はなかった。

2019 年度「口述試験の予定内容について」による告知

当該文書は、2019 年 11 月にリリースされ、その内容は前年度版と全く同一であった。この影響の詳細については第 1 章及び第 3 章を参照されたい。

令和 2（2020）年度ガイドライン改正

当該文書は、令和 2 年 5 月 22 日に発表された。一次筆記試験について若干の変更があったのみで、二次口述試験については、一切変更されていない。

2020 年度「口述試験の予定内容について」による告知

当該文書の内容は、前年度版のものにコロナ対策に関する記述が追記されたものであった。詳細は第 3 章を参照されたい。

令和 3（2021）年度ガイドライン改正

当該文書は、令和 3 年 6 月 14 日に発表された。一次筆記試験について試験時間等一定の変更があったのみで、二次口述試験については、一切変更されていない。

以上



新・面接再現動画

出演：杉森 元（PEP 英語学校 校長）

芝田 麻里（顧問弁護士）

ページ中略

〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検1級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

令和2年度 全国通訳案内士試験二次口述過去問詳解(上)

2021年7月 初版発行

著者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102号

Tel: 03-5938-7777

HP: <https://www.pep-eigo.com>

Mail: info@pep-eigo.com

※本書を読まれて、ご感想等ございましたら、
ぜひ上記までお寄せください。

本書の無断複製を厳禁します。

乱丁・落丁はお取替えます。

ISBN978-4-908485-27-5
C1082 ¥5273E



9784908485275



1921082052734

令和2年度 課題一覧 2020年12月13日(日) 試験実施

掲載	面接時間帯	組	プレゼンテーション (計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
上 巻	1 10:00-11:00	1	①大政奉還 ②免許返納 ③一汁三菜	掃除	日本の小学校を 見学したい
		2	①春一番 ②ワーケーション ③おくのほそ道	和食	日本の一般家庭で 一汁三菜
	2 11:00-12:00	1	①サブスクリプション ②鎖国 ③お食い初め	印鑑	お土産に 自分の印鑑
		2	①手締め ②レジ袋有料化 ③駅伝	新幹線	台風で 新幹線が運休
	3 13:00-14:00	1	①一期一会 ②熊野古道 ③ラーメン	手洗い	手洗い後に 手が拭けない
		2	①小倉百人一首 ②梅雨 ③みんなのトイレ (多目的トイレ)	キャッシュレス	現金の持ち合わせ がない
下 巻	4 14:00-15:00	1	①熊手 ②黒部ダム ③アマビエ	京都	京都で 神社仏閣に飽きた
		2	①新しい生活様式 ②高野山 ③入湯税	日本酒	買った酒の 銘柄違い
	5 15:30-16:30	1	①敷金礼金 ②リモート飲み会 ③刺身のつま	日本刀	日本刀を土産に 持ち帰りたい
		2	①日本の感染症対策 ②飴細工 ③姫路城	旅館	朝食を早く食べて 出立したい
	6 16:30-17:30	1	①風致地区 ②神輿 ③除夜の鐘	皇居外苑	皇居外苑での 熱中症予防策
		2	①講談 ②マイナンバーカード ③ゆず湯	相撲	相撲の全取組を 見るのはきつい

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。